

いせ



第67号

令和4年5月1日号

発行／伊勢市議会
編集／議会のあり方調査特別委員会
広報広聴検討分科会

市議会だより

題字 豊浜西小学校5年 大西 爽太郎 さん



主な記事

- 3月定例会の概要…………… 2ページ
- 予算特別委員会の概要…………… 3～5ページ
- 審議した主な議案の内容…………… 6ページ
- 市政を問う(議案質疑・一般質問) …… 8～11ページ

「旧豊宮崎文庫の桜」

市内在住の方にご投稿いただきました。

撮影日 令和2年4月5日

岡本3丁目の旧豊宮崎文庫にはソメイヨシノやオヤネザクラ等が植えられております。ぜひ皆さんも足をお運びください。

令和4年 3月定例会

令和4年度一般会計予算を可決4.3%（約23億円）の増

〜テーマ:3つの「しんか」(進化・深化・真価)を進め、未来へつなぐ〜

3月定例会の概要

令和4年3月市議会定例会は、2月21日から3月18日までの26日間の会期で開会しました。

今定例会では、令和4年度予算や令和3年度補正予算をはじめとする56議案が提出され、本会議、予算特別委員会、各常任委員会において慎重に審議した結果、各議案を原案どおり可決・同意しました。
そのほか、発議を可決しました。

3月定例会で審議した主な議案の内容は6ページ、議決結果は7ページ、議案質疑・一般質問の詳細は8〜11ページをご覧ください。

なお、3月18日の本会議において、「令和4年度伊勢市一般会計予算」について、反対討論があり、「令和4年度伊勢市一般会計補正予算(第1号)」ほか2議案について、賛成討論がありました。

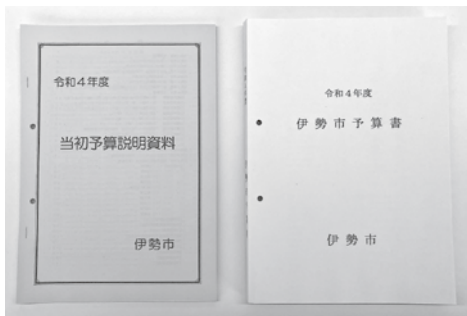
ロシアによるウクライナ 侵攻に断固抗議する決議

ロシアが一方的にウクライナに軍事侵攻を開始したことに対して、犠牲となられた方々に哀悼の意を表する。そして、ウクライナへの侵攻に対し断固抗議、強く非難するとともに、ロシア軍の即時撤退、ウクライナへの人道的支援の拡充および平和的解決等を求める決議案を全会一致で可決しました。

当初予算の概要

令和4年度
伊勢市一般会計予算総額
548億2892万円

令和4年度予算は、前年度予算と比較して4.3%（22億6452万8千円）の増額となりました。



令和4年度予算は3つの「しんか」(進化・深化・真価)をまちづくりのテーマとしていきます。

①地域課題をデジタル技術を活用して前に進めていくという進化。

②コロナ禍において、地域の絆が分断されていることもあり、地域の絆を深めていくこと、地域の歴史・伝統を深めていくことなどの深化。

③様々な「しんか」をしていきながら、伊勢のまちづくりの価値を高めていくという真価。

3つの「しんか」を進め、未来へつなぐ予算となっています。

これらを実現していくために、「すべての子どもと家庭を幸せにするまちづくり」、「健康に暮らせて誰ひ

とり取り残さないまちづくり」、「災害に強く安心して暮らせるまちづくり」、「快適で便利に暮らせるまちづくり」、「活力と賑わいにあふれるまちづくり」、これら5つの柱を主要課題と位置づけるとともに、それぞれの分野において「デジタルの活用」、「将来の担い手の育成」、「誇りと愛着の醸成」、「脱炭素化の推進」、「持続可能な行政運営」、「SDGsの推進」の6つの視点を持って、施策を進めていくことが示されました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として、PCR検査センターの運営経費や自宅待機者生活応援サービスなどの継続事業を計上しています。

3月定例会日程

2月

21日。本会議

(議案の提案説明等)

・ 総務政策委員会

・ 全員協議会

18日。議会運営委員会

・ 本会議(議案採決等)

・ 産業建設委員会

・ 教育民生委員会

・ 総務政策委員会

・ 全員協議会

28日。議会運営委員会

・ 本会議(委員会審査
付託・一般質問)

・ 予算特別委員会

(全体会)

(全体会)

3月

1日。本会議(一般質問)

3日。予算特別委員会

(分科会審査)

(3日～9日)

・ 産業建設分科会

4日。産業建設分科会

7日。教育民生分科会

8日。教育民生分科会

9日。総務政策分科会

11日。産業建設委員会

14日。教育民生委員会

15日。総務政策委員会

16日。予算特別委員会

(全体会)



伊勢市議会委員会室



伊勢市議会本会議場

予算特別委員会を設置

2月28日の本会議において、「令和4年度伊勢市一般会計予算」外9件を詳細に審査するために予算特別委員会を設置し、「総務政策分科会」、「教育民生分科会」および「産業建設分科会」の3つの分科会を設けました。

その上で、一般会計、各特別会計および各企業会計の令和4年度予算について、3月3日から9日の5日間、それぞれの分科会を開催し、審査しました。

各分科会審査の詳細は4～5ページをご覧ください。



予算特別委員会の北村委員長(左)と西山副委員長(右)(2月28日)

分科会の日程

3月

3日。産業建設分科会

4日。産業建設分科会

7日。教育民生分科会

8日。教育民生分科会

9日。総務政策分科会

審査の結果

賛成多数で可決すべしと決定
・ 一般会計

全会一致で可決すべしと決定

・ 国民健康保険特別会計

・ 後期高齢者医療特別会計

・ 介護保険特別会計

・ 住宅新築資金等貸付事業特別会計

特別会計

・ 観光交通対策特別会計

・ 土地取得特別会計

・ 病院事業会計

・ 水道事業会計

・ 下水道事業会計

予算審査

産業建設分科会（3月3日、4日）

○一般会計

労働費 女性・障がい者・若者の就労支援など

農林水産業費 農作物のブランド化、担い手支援、地産地消、獣害対策、漁港管理など

商工費 消費生活センター、住宅・店舗リフォームの促進、商店街振興、創業支援など

観光費 安全安心な観光地づくり、観光行事振興、MICE 誘致など

土木費 地籍調査、道路整備、護岸整備、立地適正化計画、無電柱化の推進、公園の長寿命化など

○特別会計

・住宅新築資金等貸付事業特別会計 一般会計化の提案など

・観光交通対策特別会計 収入に対して支出が多い状況など

・土地取得特別会計

○企業会計

・水道事業会計 行財政改革の視点による事業の見直しなど

・下水道事業会計 雨水処理対策、多額となった繰越工事への指摘など



産業建設分科会(3月3日)



(3月4日)



産業建設分科会の審査結果を報告する上村会長
(3月16日)

予算審査

教育民生分科会（3月7日、8日）

○一般会計

民生費 保健福祉拠点施設、成年後見制度、高齢者外出支援モデル事業、子育て世帯・多子世帯への支援など

衛生費 骨髄バンクドナー登録、飼い主がいない猫対策、ごみの減量・資源化、新ごみ処理施設建設計画など

消防費 避難行動要支援者制度

教育費 いじめ防止対策、学校水泳プール、読書活動、青少年育成など

○特別会計

・国民健康保険特別会計 低所得者・子育て世帯の保険料負担、マイナンバーカードの健康保険証利用など

・後期高齢者医療特別会計

・介護保険特別会計

○企業会計

・病院事業会計 院内の情報セキュリティ対策、収支の改善など



教育民生分科会(3月7日)



(3月8日)



教育民生分科会の審査結果を報告する吉岡会長
(3月16日)

予算審査

総務政策分科会（3月9日）



総務政策分科会(3月9日)

○一般会計

総務費 専門職の職員採用、デジタル化の推進・人材育成、シティプロモーションの推進、ふるさと納税、行財政改革の取り組み、男女共同参画の推進、学校跡地の活用、まちづくり協議会・自治会活動、いせミライプロジェクト推進事業、性犯罪被害者支援、防犯カメラ設置など

消防費 避難所施設へのWi-Fi整備、賞味・消費期限を迎える備蓄物資など

教育費 文化案内板の整備など



総務政策分科会の審査結果を報告する品川会長
(3月16日)

予算特別委員会（3月16日）・本会議（3月18日）

3月16日の予算特別委員会全体会で、各分科会の会長がそれぞれ分科会審査の結果を報告し、採決の結果すべて可決されました。これを受け、3月18日の本会議で、北村勝予算特別委員会委員長が予算全体の審査結果を報告しました。



予算特別委員会(3月16日)



本会議(3月18日)



予算特別委員会の審査結果を報告する北村委員長
(3月18日)

伊勢市議会動画配信

伊勢市議会では、YouTubeを利用し、ホームページで会議の動画を配信しています。

また、いせ市議会だよりの紙面上では、動画へとリンクする二次元コードを掲載しており、スマートフォンやタブレットで読み取ると、動画が視聴できます。



審議した主な議案の内容

令和3年度補正予算

令和3年度伊勢市一般

会計補正予算(第14号)

▲10億6686万9千円

通常の最終的な計数整理に加え、国の補正予算に伴う国庫支出金の配分内示に基づく事業に要する経費について補正予算を計上したものの。

令和3年度伊勢市一般

会計補正予算(第15号)

5247万1千円

新型コロナウイルス感染症対策事業について追加補正するもの。

令和4年度補正予算

令和4年度伊勢市一般

会計補正予算(第1号)

8億8824万6千円

新型コロナウイルス感染症に関連した感染防止対策、生活支援対策、経済対策に

要する経費について追加補正するもの。

その他

二見地区統合園(仮称)

建設工事(建築工事)の

請負契約

二見地区統合園(仮称)の建築工事の請負契約を承認するもの。

二見地区内の保育園を統合し、現在、整備中の二見浦小学校・二見中学校の隣に移転する。

契約金額

4億7300万円



二見地区統合園(仮称)完成イメージ図

議会日誌

2月

7日。産業建設委員協議会
8日。教育民生委員会
。同協議会

9日。総務政策委員会
。同協議会

14日。議会運営委員会
。同協議会

16日。政策等検討分科会
21日。3月18日

。3月定例会

21日。広報広聴検討分科会
28日。各派代表者会議

3月

8日。全員協議会

11日。産業建設委員協議会
14日。教育民生委員協議会

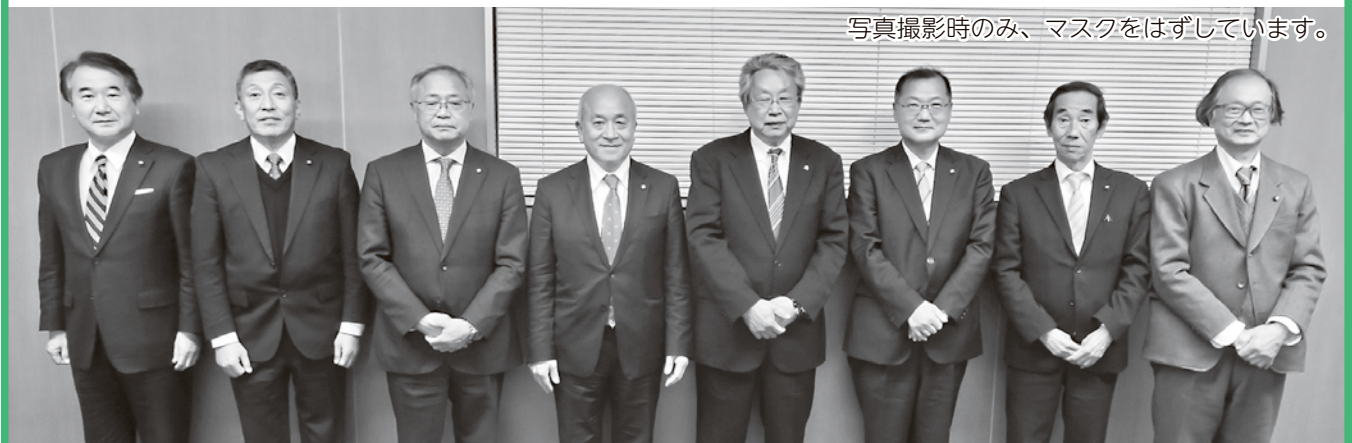
15日。総務政策委員協議会
16日。議会のあり方調査
特別委員会

。政策等検討分科会
18日。広報広聴検討分科会



政策等検討分科会委員を紹介します

令和3年12月から議会のあり方調査特別委員会の構成が一新し、新たな体制となりました。議会のあり方調査特別委員会の政策等検討分科会では、政策立案・政策提言、予算・決算審査のあり方、議会基本条例の検証・改正、議会事務局の体制の強化・充実等について検討をしていきます。



写真撮影時のみ、マスクをはずしています。

(写真左から) 中村功委員、浜口和久委員、宿典泰委員、辻孝記副会長、鈴木豊司会長、大西要一委員、西山則夫委員、楠木宏彦委員

◆◆◆ 審議した案件と結果 ◆◆◆

全会一致の案件

(議案)

議案番号	案件名
4	令和4年度伊勢市国民健康保険特別会計予算
5	令和4年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算
6	令和4年度伊勢市介護保険特別会計予算
7	令和4年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
8	令和4年度伊勢市観光交通対策特別会計予算
9	令和4年度伊勢市土地取得特別会計予算
10	令和4年度伊勢市病院事業会計予算
11	令和4年度伊勢市水道事業会計予算
12	令和4年度伊勢市下水道事業会計予算
13	令和3年度伊勢市一般会計補正予算(第14号)
14	令和3年度伊勢市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
15	令和3年度伊勢市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
16	令和3年度伊勢市介護保険特別会計補正予算(第3号)
17	令和3年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)
18	令和3年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算(第1号)
19	令和3年度伊勢市土地取得特別会計補正予算(第1号)
20	令和3年度伊勢市病院事業会計補正予算(第2号)
21	令和3年度伊勢市水道事業会計補正予算(第2号)
22	令和3年度伊勢市下水道事業会計補正予算(第2号)
23	伊勢市行政組織条例の一部改正
24	伊勢市個人情報保護条例の一部改正
25	伊勢市附属機関条例の一部改正

議案番号	案件名
26	伊勢市子ども家庭支援ネットワーク条例及び伊勢市障害児放課後等支援施設条例の一部改正
27	伊勢市職員の育児休業等に関する条例の一部改正
28	伊勢市職員給与条例の一部改正
29	伊勢市職員給与条例等の一部改正
30	伊勢市手数料徴収条例の一部改正
31	伊勢市奨学金支給条例の一部改正
32	伊勢市国民健康保険条例の一部改正
33	伊勢市特定用途制限地域における畜舎等の制限に関する条例の制定
34	伊勢市消防団条例の一部改正
35	伊勢市消防団員等公務災害補償条例の一部改正
36	伊勢市福祉健康センターの指定管理者の指定
37	鳥羽市との定住自立圏形成協定の変更
38	志摩市との定住自立圏形成協定の変更
39	玉城町との定住自立圏形成協定の変更
40	度会町との定住自立圏形成協定の変更
41	大紀町との定住自立圏形成協定の変更
42	南伊勢町との定住自立圏形成協定の変更
43	デスクトップ型及びノート型パソコンの取得
44	二見地区統合園(仮称)建設工事(建築工事)の請負契約
45	和解及び損害賠償の額を定めること
46	市道の路線の廃止
47	市道の路線の認定
48	伊勢市教育長の任命につき同意を求めること
49~52	人権擁護委員の推薦につき意見を聞くこと
53	伊勢市国民健康保険条例の一部改正
54	令和3年度伊勢市一般会計補正予算(第15号)
55	令和3年度伊勢市病院事業会計補正予算(第3号)
56	令和4年度伊勢市一般会計補正予算(第1号)
57	令和4年度伊勢市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
58	令和4年度伊勢市病院事業会計補正予算(第1号)

(発議)

議案番号	案件名
1	常任委員会の閉会中の継続審査・調査
2	ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議
3	伊勢市議会委員会条例の一部改正

賛否の分かれた案件

(議案)

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
議員名	三野	川口	大西	宮崎	久保	中村	井村	上村	北村	楠木	鈴木	野崎	吉井	世古	野口	岡田	福井	辻	吉岡	品川	藤原	西山	浜口	宿	
議案番号	泰嗣	浩	要一	誠	真	功	貴志	和生	勝	宏彦	豊司	隆太	詩子	明	佳子	善行	輝夫	孝記	勝裕	幸久	清史	則夫	和久	典泰	
議案番号	案件名																							審議結果	
議案第3号	令和4年度伊勢市一般会計予算																							賛成多数 原案可決	
	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

・○は賛成、×は反対。世古議長は通常採決に加わりません。

市政を問う

各議員の掲載記事欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取るとその議員の動画が視聴できます。

6人の議員が質問

2月28日 中村 功 9ページ
 (一般質問) 鈴木 豊司 9ページ
 野口 佳子 10ページ
 楠木 宏彦 10ページ

3月1日 川口 浩 11ページ
 (一般質問) 野崎 隆太 11ページ

3月18日 野崎 隆太 8ページ
 (議案質疑)

- 議案質疑** …予算、条例等の議会に提出された議案の内容について質問をすること
- 一般質問** …市の事業、諸課題、将来の方針等、市政全般について質問をすること



のざき りゅうた
野崎 隆太

(自由民主党)

EC (ネット通販) 販路開拓支援事業について、ECサイト登録事業者数の目標は

答 令和4年度末においては、120件を目標に考えている

動画はこちらから



議案質疑

議案第56号 令和4年度伊勢市一般会計補正予算(第1号)

問 ポータルサイトの事業目的と効果は。

答 先般、全員協議会において、野崎議員からアクセスを得るに当たっての課題などについて御意見をいただいた。その後担当部において、あらかじめ認知度を高める手段について検討した。市が自ら行う情報発信はもとより、マスメディアへの情報提供、取材依頼、これまでに御縁をいただいている著名人などへの周知など、考え得る手段を全て用いて認知度を高めたいことを確認した上でこのたび予算案として提案をさせていただいた。インターネットショッピングの市場規模は大きく拡大をしている。作成による第1の効果は、今回実施をする補助金を活用いただくこととあわせて、伊勢のECをアピールする仕組みをつくることで新規参入と取り組み拡大の機運を高めることと考えている。ECの活用、活性化を図ることにより、販

路を拡大していこうとする市内事業者のチャレンジを支援し、デジタル技術を活用して地域課題の解決を行うスマートシティを実現しようとする自治体として、商業振興の面でのステップアップを図ってまいりたい。加えて、仮に今後も人流が抑制される事態となったとしても、実店舗への来店以外の物販という手段を確保し、稼ぎ続けられる体制づくりを支援することで市内経済の一助になればと考えている。



伊勢市観光協会のECサイト
※表示の商品は一例です。

一般質問



なかむら いさお
中村 功

(志誠会)

伊勢うどん魅力発信事業はどのように取り組まれるのか

動画はこちらから



答 国登録無形の民俗文化財に登録し、将来に継承されるものとした

- 問 事業として取り組む契機となったのは何か。
- 答 食文化など無形の文化財を保護する登録制度が新設され、文化財登録を進めるための補助制度が設けられるなど食文化の継承と振興の機運が高まったため取り組むこととした。
- 問 今後どのように展開していくのか。
- 答 伊勢うどんの文化財的価値を明らかにし、文献調査など調査研究を実施する。
- 問 三重ブランドへの登録はどうか。
- 答 登録に向けて積極的に取り組むたい。
- 問 元旦に「年明けうどん」として食べる新しい習慣を創り上げていってはどうか。
- 答 関係部署と連携し、前向きに考えたい。
- 問 窓口業務について
- 答 市民にとって便利な窓口への取り組みはどうか。
- 答 窓口での手続きの負担を少なくするよう努める。
- 問 マイナンバーカードの



伊勢うどん

- 問 普及に向けての取り組みはどうか。
- 答 国、県とも連携しながら、取得促進に向けて取り組みたい。
- 問 オンライン化を進めていく上でのデジタルデバイス対策はどうか。
- 答 スマートフォン教室を開催するなど、高齢者の方にも使っていただけのような努力したい。
- 問 書かせない、待たせない、来させない窓口への実現に向けての取り組みはどうか。
- 答 先進自治体の状況などについて研究したい。

一般質問



すずき とよし
鈴木 豊司

(勢風会)

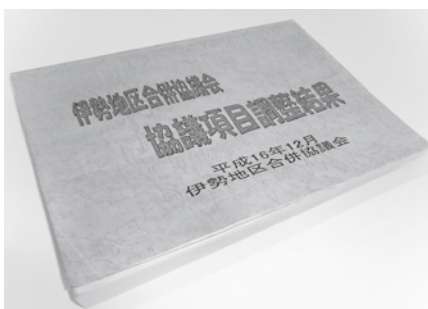
合併協定最後の項目“市民憲章”は、制定をするべきであると考えてるが

動画はこちらから



答 「総合計画審議会」の意見を踏まえ、現時点では制定する必要がないものと判断した

- 問 “市民憲章”は、市民の皆さんが生活を営む上での「拠り所」、子供達にとっては、健やかな成長過程における「お手本」として大変重要な行動指針であると認識するが。
- 答 “市民憲章”は、市民の行動規範、努力目標とも言えるが、その要素は、伊勢市基本計画と共通する内容はあると認識している。
- ※旧伊勢市 “市民憲章”
伊勢市は、神宮鎮座の地であって、古くから国民の心のふるさととして親しまれてきたまちです。
わたしたちは、伊勢市民としての誇りを持ち、伊勢市がいつそう平和で、文化豊かな美しいまちとなり、訪れる人にも心のうるおいとなるように、みんなで力をあわせて努めましょう。
一、自然を愛し、歴史を尊び、清く美しいまちをつくりましょう。
一、健康とよろこびをもって働き、明るく楽しいま



伊勢地区合併協議会 協議項目調整結果

その他の質問事項
・新たな地域自治のしくみづくりについて

- 一、ちをつくりましょう。
- 一、きまりを守り、よい習慣を育て、安全で住みよいまちをつくりましょう。
- 一、すべての人に親切をつくし、たがいに助けあい、あたたかいまちをつくりましょう。
- 一、つねに視野を広め、産業と教育をのび、豊かなまちをつくりましょう。

一般質問



のぐち よしこ
野口 佳子

(志誠会)

小中学校におけるいじめ問題への対策は

動画は
こちらから



答 いじめ問題対策連絡協議会において、問題を共有し、防止の強化を図っている

問 児童虐待の相談対応は、通告が入ったら、原則

子どもへの支援について

答 配布をしており、スマートフォンやパソコンなどのネット上のいじめに対する注意点などを新たに加えて、改訂版を令和4年3月中に全保護者に配布する。

問 平成23年度末から市内の小中学校の全保護者を対象にハートアンドはあとというリーフレットを配布しているが、令和3年度も配布しているか。

答 ウェブQ.U(学校満足度調査)のアンケートを実施し、その分析に基づき、子どもたちが安心して過ごせる学級集団づくりについて、取り組む研究体制の強化を図ることができた。

問 児童生徒が安心して気持ちよく過ごせる学校づくりに努めるため、各学校に非常勤講師を雇用している。聞いた。その取り組みの成果について聞きたい。

答 ウェブQ.U(学校満足度調査)のアンケートを実施し、その分析に基づき、子どもたちが安心して過ごせる学級集団づくりについて、取り組む研究体制の強化を図ることができた。



その他の質問
・新型コロナウイルスワクチンの接種について

答 継続的な支援を行っていく連携体制の強化を推進していきたいと考える。スピード感をもって今後も取り組む。

問 ヤングケアラーへの今後の支援は。

48時間以内に安全確認を行っている。伊勢市子ども家庭支援ネットワークの中で、各関係機関と定期的な情報共有や支援方針の協議を行い、見守り・支援を実施している。

一般質問



くすき ひろひこ
西木 宏彦

(日本共産党)

3回目ワクチン接種会場が一部地域で不便になっている。その事情は

動画は
こちらから



答 施設の補修工事等で使用不可となり減した集団分は、個別分を増やし総数確保している

問 保育士等の処遇改善事

件について

答 ピンポイントでということではなく、生活がうまくいくような形で支援していく。

問 新入学高校生のタブレット購入負担(5万円)が大変という声があるが、家計への直接的な支援も必要では。

答 生活サポートセンターあゆみへの相談件数が4千件を超え、多くの方々が様々な困難に直面していると理解している。市税等の納付猶予や減免を行い、支援に取り組んでいる。

問 住民税非課税世帯・家計急変世帯への臨時特別給付金支給の現状は。

答 非課税世帯については、市で把握している情報により、1万3千世帯中、1万世帯(77%)に給付済みである。家計急変世帯については、社会福祉協議会等の窓口チラシを設置する等、広報の取り組みを進めている。



問 授業のオンライン配信については、個々の先生にとって技術的に大変と思うが、支援はどうしているか。

答 令和元年度以来、教員研修を行い、また、教育研究所のICT支援員も活用している。

問 小中学校の子どもの感染もしくは陽性、自宅待機者などへの教育の支援は。

答 本人の希望に沿って授業のオンライン配信をしている。

一般質問



かわぐち ひろし
川口 浩

(日本共産党)

有料老人ホーム、介護保険事業所の不正・虐待疑いへの対応は

答 事実確認を行い、関係法令に基づき厳正に対処する

動画はこちらから



機能と連携する
ランティア支援
福祉協議会のポ
に移転し、社会
トプラザみその

問 当初はハ
トプラザみその
に移転し、社会
福祉協議会のポ
ランティア支援
機能と連携する

問 入居者の安全・安心を
どう確保するのか。
答 別の施設へ移るための
支援も考えられる。

問 介護サービスに不正が
あれば、介護保険制度への
信頼を揺るがしかねないが、
どう対応するか。
答 監査の結果、改善勧告
を行い、改善命令や指定の
取り消しなど行政処分を行
う場合がある。

問 所得の少ない人も入居
できる特別養護老人ホーム
の増設が必要ではないか。
答 在宅介護重視の基本方
針を維持しつつ、今後の需
要、介護保険料の負担など
を考慮しながら整備していく。

問 登録市民団体にアンケ
ートを実施した目的は。
答 新型コロナウイルス防
のため意見交換会を開けず、
アンケートに変更した。

問 無記名で回答を求めな
がら、回答用紙、宛先ラベ
ルに番号が付いており、回
答内容と団体名との照合が
可能な状況にあった。強く
不信感を抱いた方もいるが、
答 事務処理の整理のため
に番号を付けたもので、作
為的に何かをしたわけでは
ない。今後はこのようなこ
とのないよう慎重に事務を
進める。

問 伊勢市の考えるスマー
トシティとは。
答 定義は様々な考え方が
あるが、国のガイドブッ
クでは、大きな定義とし
て、ICTなどの新しい技
術やデータを活用したサー
ビスの提供、マネジメン
トの高度化により地域が抱え
る諸問題の解決を行い、新
たな価値を創出し続ける持
続可能な都市や地域とされ
ている。今後、各団体と意
見交換をしながら、各分野
の目標や方向性の整理を行
い、目指していくスマート
シティ像を示したい。

問 スマートシティと協議
会、市民はどのように関
わっていくのか。
答 デジタル技術は市民に
使っていたただかないと意味
がないと十分承知している。
より使いやすいシステムを
つくり、より全ての方に分
かるように周知していきたい。



いせ市民活動センター

一般質問



のざき りゅうた
野崎 隆太

(自由民主党)

公共施設、公共サービスのキャッシュレス化、全面開始に弊害はあるか

答 設備、従事者について課題はあるが、条件さえ整えば法的には可能と認識している

動画はこちらから



問 キャッシュレス普及、
推進のため、達成度を図る
ことも必要ではないか。
答 スマートシティ実現に

問 スマートシティと協議
会、市民はどのように関
わっていくのか。
答 デジタル技術は市民に
使っていたただかないと意味
がないと十分承知している。
より使いやすいシステムを
つくり、より全ての方に分
かるように周知していきたい。

問 伊勢市の考えるスマー
トシティとは。
答 定義は様々な考え方が
あるが、国のガイドブッ
クでは、大きな定義とし
て、ICTなどの新しい技
術やデータを活用したサー
ビスの提供、マネジメン
トの高度化により地域が抱え
る諸問題の解決を行い、新
たな価値を創出し続ける持
続可能な都市や地域とされ
ている。今後、各団体と意
見交換をしながら、各分野
の目標や方向性の整理を行
い、目指していくスマート
シティ像を示したい。

問 キャッシュレスで買物
をする職員も増えてきてお
り、利便性の向上、サービ
スの拡大にもつながる。市
の施策を推進する意味でも
あらためて検証し、前向き
に進めていきたい。

問 数年前から手本として
市役所本庁地下売店への電
子決済導入を求めている。
実現していないのはなぜか。
答 キャッシュレスで買物
をする職員も増えてきてお
り、利便性の向上、サービ
スの拡大にもつながる。市
の施策を推進する意味でも
あらためて検証し、前向き
に進めていきたい。

問 伊勢市の考えるスマー
トシティとは。
答 定義は様々な考え方が
あるが、国のガイドブッ
クでは、大きな定義とし
て、ICTなどの新しい技
術やデータを活用したサー
ビスの提供、マネジメン
トの高度化により地域が抱え
る諸問題の解決を行い、新
たな価値を創出し続ける持
続可能な都市や地域とされ
ている。今後、各団体と意
見交換をしながら、各分野
の目標や方向性の整理を行
い、目指していくスマート
シティ像を示したい。

問 スマートシティと協議
会、市民はどのように関
わっていくのか。
答 デジタル技術は市民に
使っていたただかないと意味
がないと十分承知している。
より使いやすいシステムを
つくり、より全ての方に分
かるように周知していきたい。

問 キャッシュレスで買物
をする職員も増えてきてお
り、利便性の向上、サービ
スの拡大にもつながる。市
の施策を推進する意味でも
あらためて検証し、前向き
に進めていきたい。

問 伊勢市の考えるスマー
トシティとは。
答 定義は様々な考え方が
あるが、国のガイドブッ
クでは、大きな定義とし
て、ICTなどの新しい技
術やデータを活用したサー
ビスの提供、マネジメン
トの高度化により地域が抱え
る諸問題の解決を行い、新
たな価値を創出し続ける持
続可能な都市や地域とされ
ている。今後、各団体と意
見交換をしながら、各分野
の目標や方向性の整理を行
い、目指していくスマート
シティ像を示したい。



市役所本庁地下売店

表紙の題字は

豊浜西小学校の皆さんに書いていただいた作品の中から、今回は大西さんの「いせ」を採用しました。次回は北浜小学校の皆さんの中から採用予定です。



題字を書いた時の感想

漢字よりひらがなの方が、とてもではないけれど難しかったです。上手に書けたのでうれしかったです。

豊浜西小学校 5年 おにし 大西 そうたろう 爽太郎

「議会ツアー」 に参加してみませんか？

議会って何してる
とこなん？



議会ツアー

議場や委員会室等の施設見学とあわせて、議員と事務局職員が議会の役割や仕組み等を分かりやすく説明します。社会見学やグループ等でご利用ください。

※伊勢市民を対象とします。1グループ3名以上で議会事務局までお申し込みください。

各種ご案内

議会放映

本会議、予算・決算特別委員会（設置された場合）の模様を会議のあった日の翌日午後2時と7時からの2回、また定例会終了後の翌々日午後8時から再放送をケーブルテレビの伊勢市行政チャンネルで放映します。

なお、伊勢市議会のホームページでYouTubeページを利用した動画配信も行っています。インターネット環境があれば、時間を気にせず視聴していただくことができますのでご利用ください。

また、会議の様様を収めたDVDの貸し出しも行ってありますので、ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

3月定例会会議録

3月定例会の詳細は、「3月議会の会議録」をご覧ください。

会議録は、議会事務局、各総合支所、伊勢図書館、小俣図書館へ6月下旬に設置の予定です。

また、伊勢市議会ホームページでも公開します。

6月定例会は

6月20日～7月6日

の予定です。

日程等は、開会1週間前からケーブルテレビ、伊勢市議会ホームページでご案内します。

編集

議会のあり方調査特別委員会

広報広聴検討分科会

会長 上村 和生

副会長 藤原 清史

委員 久保 真

井村 貴志

野崎 隆太

野口 佳子

品川 幸久

問い合わせ先

伊勢市議会事務局(本館3階)

〒516-8601

伊勢市岩淵1丁目7番29号

TEL ②1-5630

FAX ②1-5631

Eメールアドレス

gikai@city.ise.mie.jp